

## 介護職員処遇改善計画書・介護職員等特定処遇改善計画書(令和 4 年度)

## 1 基本情報&lt;共通&gt;

フリガナ	シャカイフクシホウジンジュンブウカイ				
法人名	社会福祉法人淳風会				
法人所在地	〒	531-0075			
	大阪市北区大淀南2-5-20				
フリガナ	ニッタユウキ・ヤマサキテルアキ				
書類作成担当者	新田有規・山崎 輝明				
連絡先	電話番号	06-6450-1121	FAX番号	06-6585-3388	E-mail
	honbu@junpu-kai.or.jp				

【本計画書で提出する加算】 ※加算名をチェックすること。

 介護職員処遇改善加算(処遇改善加算) 介護職員等特定処遇改善加算(特定加算)

## 2 賃金改善計画について&lt;共通&gt;

※本計画に記載された金額は見込額であり、提出後の運営状況(利用者数等)、人員配置状況(職員数等)その他の事由により変動があり得る。

※本様式のオレンジセルでは下記の要件を確認しており、セルが「○」でない場合、加算の算定要件を満たしていない。

- I 介護職員の賃金改善の見込額が、処遇改善加算の算定見込額を上回ること  
 II 介護職員その他の職員の賃金改善の見込額が、特定加算の算定見込額を上回ること

## (1) 介護職員処遇改善加算

① 算定する加算の区分	※ 別紙様式2-2のとおり		
② 介護職員処遇改善加算の算定対象月			
③ 令和 4 年度介護職員処遇改善加算の見込額	107,955,480	円	
④ 賃金改善の見込額(i-ii) (右欄の額は③欄の額を上回ること)	107,955,481	円	○
i) 介護職員処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の介護職員の賃金の総額(見込額)	676,002,755	円	
ii) 前年度の介護職員の賃金の総額(処遇改善加算等を取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)【基準額1】(ア)-(イ)-(ウ)-(エ)	568,047,274	円	
(ア)前年度の介護職員の賃金の総額	695,605,393	円	
(イ)前年度の介護職員処遇改善加算の加算の総額	96,662,315	円	
(ウ)前年度の介護職員等特定処遇改善加算の加算の総額(その他の職種に支払われた額を除く)	29,205,804	円	
(エ)前年度の各介護サービス事業者等の独自の賃金改善額	1,690,000	円	
⑤ 賃金改善実施期間	令和 4 年 6 月	～	令和 5 年 5 月

## 【記入上の注意】

- (1)④ i)の「介護職員処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の介護職員の賃金の総額(見込額)」及びii) (ア)の「前年度の介護職員の賃金の総額」には、介護職員処遇改善加算による賃金改善を行った場合の法定福利費等の事業主負担の増加分を含めることができる。
- (1)④ i)の「介護職員処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の介護職員の賃金の総額(見込額)」には、特定加算、処遇改善支援補助金及び介護職員等ベースアップ等支援加算(仮称)を取得し実施される賃金の改善見込額を除いた額を記載すること。(この際、介護職員等ベースアップ等支援加算(仮称)を取得する意向のある事業所は、同加算に係る改善見込額については、令和4年10月から賃金改善実施期間の最終月(原則として令和5年3月)までの月数に、1月あたりの補助金の平均見込額を乗じることによって算出すること。)  
 ※1月あたりの補助金の平均見込額は、(参考)補助金別紙様式2-1の「2 賃金改善計画について」①の額を、補助金の交付対象期間の月数で除した額とする。なお、補助金を取得せず、介護職員等ベースアップ等支援加算(仮称)を取得する意向のある事業所は、仮に補助金を取得する場合の1月あたりの補助金の平均見込額を算出すること。
- (1)④ ii) (イ)の「前年度の介護職員処遇改善加算の加算の総額」及び(ウ)の「前年度の介護職員等特定処遇改善加算の加算の総額」は、都道府県国民健康保険団体連合会から通知される「介護職員処遇改善加算等総額のお知らせ」に基づき記載すること。(特定加算の加算の総額については、その他の職種に支給された額を除く。)
- (1)④ ii) (エ)の「前年度の各介護サービス事業者等の独自の賃金改善額」は、本計画書の提出年度における独自の賃金改善分(初めて処遇改善加算を取得した年度以降に新たに行ったものに限る。)をいう。(処遇改善加算及び特定加算に係るものを除く。)本欄に記載した賃金改善については、「(3)ハ 各介護サービス事業者等による処遇改善加算、特定加算の配分を除く賃金改善」欄に支給額、方法等の具体的な賃金改善の内容を記載すること。

(2) 介護職員等特定処遇改善加算

① 算定する特定加算の区分				
② 介護職員処遇改善加算の取得状況				
③ 介護福祉士の配置等要件 ※サービス提供体制強化加算等の届出状況	※①、③、④ 別紙様式2-3のとおり、② 別紙2-2のとおり			
④ 特定加算の算定対象月				
⑤ 令和 4 年度介護職員等特定処遇改善加算の見込額(g)	33,903,288	円		
⑥ 賃金改善の見込額 (i - ii) (右欄の額は⑤欄の額を上回る)	33,903,289	円		
i) 特定加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)	727,257,515	円		
ii) 前年度の賃金の総額(処遇改善加算等を取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)【基準額2】(ア)-(イ)-(ウ)-(エ)	693,354,226	円		
(ア)前年度の賃金の総額	821,102,345	円		
(イ)前年度の介護職員処遇改善加算の加算の総額	96,662,315	円		
(ウ)前年度の介護職員等特定処遇改善加算の加算の総額	29,205,804	円		
(エ)前年度の各介護サービス事業者等の独自の賃金改善額	1,880,000	円		
⑦ 平均賃金改善額	経験・技能のある 介護職員(A)	他の介護職員(B)	その他の職種(C)	
i) 前年度の賃金の総額(処遇改善加算等を取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)(h)	324,215,704 円	245,935,058 円	123,197,587 円	
ii) 前年度の常勤換算職員数(i)	933.8 人	973.7 人	743.2 人	
iii) 前年度の一月当たりの常勤換算職員数(j)	73.0 人	85.3 人	70.7 人	
iv) 前年度のグループ毎の平均賃金額(月額)【基準額3】(h)/(i)	347,200 円	252,578 円	165,766 円	
v) グループ毎の平均賃金改善額(月額)(g)/(j)/(k) ※予定している配分方法について選択すること。(いずれか一つ) ※当該年度の特定加算の見込額と前年度の一月当たりの常勤換算方法により算出した職員数から算出した一人当たり配分額(月額)。(括弧内はグループ毎に配分可能な加算総額(年額))	<input type="radio"/> (A)のみ実施 ( 33,903,828 円 )	38,703 円 ( 33,903,828 円 )		
	<input type="radio"/> (A)及び(B)を実施 ( #DIV/0! 円 )	#DIV/0! 円 ( #DIV/0! 円 )	#DIV/0! 円 ( #DIV/0! 円 )	
	<input checked="" type="radio"/> (A)(B)(C)全て実施 ( 33,903,679 円 )	15,560 円 ( 13,630,560 円 )	14,003 円 ( 14,333,471 円 )	7,001 円 ( 5,939,648 円 )
	<input type="radio"/> 上記以外の方法で実施 ( 0 円 )			
月額平均8万円の賃金改善となる者又は改善後の賃金が年額440万円となる者	39	人(見込)		
(「月額平均8万円の処遇改善又は改善後の賃金が年額440万円以上となる者」を設定できない場合その理由)	<input type="checkbox"/> 小規模事業所等で加算額全体が少額であるため。 <input type="checkbox"/> 職員全体の賃金水準が低く、直ちに月額平均8万円等まで賃金を引き上げることが困難であるため。 <input type="checkbox"/> 月額平均8万円等の賃金改善を行うに当たり、これまで以上に事業所内の階層や役職にある者に求められる能力や処遇を明確化することが必要であり、規程の整備や研修・実務経験の蓄積などに一定期間を要するため。 <input type="checkbox"/> その他( )			
⑧ 賃金改善実施期間(k)	令和 4 年 6 月 ~ 令和 5 年 5 月 ( 12 か月 )			

要件 II

【記入上の注意】

- (2)⑥ i)の「特定加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)及びii) (ア)の「前年度の賃金の総額」には、特定加算による賃金改善に伴う法定福利費等の事業主負担の増加分を含めることができる。
- (2)⑥ i)の「特定加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」には、処遇改善加算、処遇改善支援補助金及び介護職員等ベースアップ等支援加算(仮称)を取得し実施される賃金改善額を除いた額を記載すること。(この際、介護職員等ベースアップ等支援加算(仮称)を取得する意向のある事業所は、同加算に係る改善見込額については、令和4年10月から賃金改善実施期間の最終月(原則として令和5年3月)までの月数に、1月あたりの補助金の平均見込額を乗じることによって算出すること。)  
※1月あたりの補助金の平均見込額は、(参考)補助金別紙様式2-1の「2 賃金改善計画について」①の額を、補助金の交付対象期間の月数で除した額とする。なお、補助金を取得せず、介護職員等ベースアップ等支援加算(仮称)を取得する意向のある事業所は、仮に補助金を取得する場合の1月あたりの補助金の平均見込額を算出すること。
- (2)⑥ ii) (イ)の「前年度の介護職員処遇改善加算の加算総額」及び(ウ)の「前年度の介護職員等特定処遇改善加算の加算総額」は、都道府県国民健康保険団体連合会から通知される「介護職員処遇改善加算等総額のお知らせ」に基づき記載すること。
- (2)⑥ ii) (エ)の「前年度の各介護サービス事業者等の独自の賃金改善額」は、本計画書の提出年度における独自の賃金改善分(初めて処遇改善加算を取得した年度以降に新たに行ったものに限る。)をいう。(処遇改善加算及び特定加算に係るものを除く。)本欄に記載した賃金改善については、「(3)ハ 各介護サービス事業者等による処遇改善加算、特定加算の配分を除く賃金改善」欄に支給額、方法等の具体的な賃金改善の内容を記載すること。
- (2)⑦ i)の「前年度の賃金の総額(処遇改善加算等を取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)」には、一括申請を行う場合については、原則として、前年1月から12月までの賃金の総額を記載すること。ただし、「その他の職種(C)」には、賃金改善前の賃金が既に年額440万円を上回る職員の賃金を含まないこと。
- (2)⑦ iii)の「前年度の一月当たりの常勤換算職員数」には、一括申請を行う場合については、原則として、本計画書を提出する前月の常勤換算方法により算出した職員数を記載すること。また、賃金改善前の賃金が既に年額440万円を上回り、特定加算の配分対象とならない職員については、「その他の職種(C)」の常勤換算職員数に含めること。なお、「その他の職種(C)」については、実人数によることもできる。

(3) 賃金改善を行う賃金項目及び方法

イ 介護職員処遇改善加算

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓)  変更なし

賃金改善を行う給与の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 基本給 <input type="checkbox"/> 手当(新設) <input checked="" type="checkbox"/> 手当(既存の増額) <input type="checkbox"/> 賞与 <input type="checkbox"/> その他
具体的な取組内容	(当該事業所における賃金改善の内容の根拠となる規則・規程) <input type="checkbox"/> 就業規則の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 賃金規程の見直し <input type="checkbox"/> その他 ( ) (賃金改善に関する規定内容) ・正職員 平成21年4月～令和3年3月分までの基本給(職能給)月額5,000円底上げ 平成21年4月～令和4年3月分までの資格手当月額8,000円増額、夜勤手当1回5,000円増額、役職手当(チーフ)月額10,000円増額(主任)月額4,000円増額、年末年始手当1日2,000円増額 業績により変動が生じた場合、5月に常勤換算に応じた一時金を支給する事がある。 ・契約職員 平成21年4月～令和3年3月分までの時給100円増額 平成21年4月～令和4年3月分までの有資格者(介護福祉士)に時給50円増額、5:00～8:00/18:00～22:00勤務者に時給100円増額、]日曜/祝日勤務者に時給50円増額、年末年始手当時給250円増額、夜勤手当1回5,000円増額 業績により変動が生じた場合、5月に常勤換算に応じた一時金を支給する事がある。 ※上記の根拠規程のうち、賃金改善に関する部分を記載すること。 ※前年度に提出した計画書から変更がある場合には、変更箇所を下線とするなど明確にすること。 (上記取組の開始時期)    平成    24    年    4    月    ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 予定 )

ロ 介護職員等特定処遇改善加算

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓)  変更なし

経験・技能のある介護職員の考え方	介護福祉士有資格者でかつ介護従事経験10年の者又は育成等級(法人内の等級:職能・キャリア段位のようなもの)Ⅲ級以上の者
賃金改善を行う職員の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> (A)経験・技能のある介護職員 <input checked="" type="checkbox"/> (B)他の介護職員 <input checked="" type="checkbox"/> (C)その他の職種 ((A)にチェック(✓)がない場合その理由)
賃金改善を行う給与の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 基本給 <input checked="" type="checkbox"/> 手当(新設) <input type="checkbox"/> 手当(既存の増額) <input type="checkbox"/> 賞与 <input type="checkbox"/> その他
具体的な取組内容	(当該事業所において賃金改善内容の根拠となる規則・規程) <input checked="" type="checkbox"/> 就業規則の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 賃金規程の見直し <input type="checkbox"/> その他 ( ) (賃金改善に関する規定内容) ・正職員、契約職員共通 介護職員等特定処遇改善手当として加算入金月に支給する。 例.令和4年4月提供分 ⇒ 令和4年6月支給 令和4年5月提供分 ⇒ 令和4年7月支給 以降提供月から2か月後(加算入金月)の支給 経験・技能のある介護職員(A) 手当額 正職員月額13,200円 契約職員時給79円 他の介護職員(B) 手当額 正職員月額11,900円 契約職員時給71円 その他の職種(C) 手当額 正職員月額 9,917円 契約職員時給47円 業績により金額に変動が生じる場合あり。 ※上記の根拠規程のうち、賃金改善に関する部分を記載すること。 資格・手当等を含めて賃金改善を行う場合は、その旨を記載すること。 ※前年度に提出した計画書から変更がある場合には、変更箇所を下線とするなど明確にすること。 (上記取組の開始時期)    令和    4    年    4    月    ( <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 予定 )

ハ 各介護サービス事業者等による処遇改善加算、特定加算の配分を除く賃金改善

(1)④ii)(エ)又は(2)⑥ii)(エ)の「前年度の各介護サービス事業者等の独自の賃金改善額」に計上する場合は記載

独自の賃金改善の具体的な取組内容	1事業所にて職員の苦悩に報いる必要があり、賞与を特別に増額。
独自の賃金改善額の算定根拠	介護職員の正職員30,000円、介護職員以外の正職員10,000円増額をベースに職員の急な欠勤による残業や呼出勤務等に協力的であり、施設運営に多大なる貢献をした者に対しては更に個別に増額。 契約職員は勤務時間に応じて増額。

### 3 キャリアパス要件について<処遇改善加算>

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓)  変更なし

次の要件について該当するものにチェック(✓)し、必要事項を具体的に記載すること。

キャリアパス要件Ⅰ 次のイからハまでのすべての基準を満たす。		加算Ⅰ・Ⅱの場合は必ず「該当」 <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当
イ	介護職員の任用における職位、職責又は職務内容等の要件を定めている。	
ロ	イに掲げる職位、職責又は職務内容等に応じた賃金体系を定めている。	
ハ イ、ロについて、就業規則等の明確な根拠規定を書面で整備し、全ての介護職員に周知している。		

キャリアパス要件Ⅱ 次のイとロ両方の基準を満たす。		加算Ⅰ・Ⅱの場合は必ず「該当」 <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当
イ	介護職員の職務内容等を踏まえ、介護職員と意見交換しながら、資質向上の目標及び①、②に関する具体的な計画を策定し、研修の実施又は研修の機会を確保している。	
	イの実現のための具体的な取組内容 (該当する項目にチェック(✓)した上で、具体的な内容を記載)	<input checked="" type="checkbox"/> ① 資質向上のための計画に沿って、研修機会の提供又は技術指導等を実施するとともに、介護職員の能力評価を行う。 ※当該取組の内容について下記に記載すること ・年度計画を立案し、以下の内容を職員会議にて内部研修を実施している。(職員一律) 倫理・法令遵守、感染症・食中毒、地域貢献、苦情・事故防止、身体拘束・虐待防止、認知症・精神疾患、基本的人権、防災、看取り介護、地域包括ケア、褥瘡予防 ・年度計画として個人研修・評価シートを作成し外部研修へ参加してもらっている。(職員個別) 上司と面談の上、年度の重要テーマと目標を設定。それを達成するために役立つ外部研修への参加を計画。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 資格取得のための支援の実施 ※当該取組の内容について下記に記載すること 希望者が介護福祉士修学資金貸付制度を利用出来るように法人が連帯保証人となっている。
ロ イについて、全ての介護職員に周知している。		

キャリアパス要件Ⅲ 次のイとロ両方の基準を満たす。		加算Ⅰの場合は必ず「該当」 <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当
イ	介護職員について、経験若しくは資格等に応じて昇給する仕組み又は一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組みを設けている。	
	具体的な仕組みの内容(該当するもの全てにチェック(✓)すること。)	<input type="checkbox"/> ① 経験に応じて昇給する仕組み ※「勤続年数」や「経験年数」などに応じて昇給する仕組みを指す。
		<input type="checkbox"/> ② 資格等に応じて昇給する仕組み ※「介護福祉士」や「実務者研修修了者」などの取得に応じて昇給する仕組みを指す。ただし、介護福祉士資格を有して就業する者についても昇給が図られる仕組みであることを要する。
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組み ※「実技試験」や「人事評価」などの結果に基づき昇給する仕組みを指す。ただし、客観的な評価基準や昇給条件が明文化されていることを要する。
ロ イについて、全ての介護職員に周知している。		

※要件Ⅲを満たす(加算Ⅰを算定する)場合、昇給する仕組みを具体的に記載している就業規則等について、指定権者からの求めがあった場合には速やかに提出できるよう、適切に保管すること。

#### 4 職場環境等要件について<共通>

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓)  変更なし

##### 【処遇改善加算】

届出に係る計画の期間中に実施する事項について、全体で**必ず1つ以上**にチェック(✓)すること。(ただし、記載するに当たっては、選択したキャリアパスに関する要件で求められている事項と重複する事項を記載しないこと。)

##### 【特定加算】

届出に係る計画の期間中に実施する事項について、**必ず全て**にチェック(✓)すること。複数の取組を行い、「入職促進に向けた取組」、「資質の向上やキャリアアップに向けた支援」、「両立支援・多様な働き方の推進」、「腰痛を含む心身の健康管理」、「生産性向上のための業務改善の取組」、「やりがい・働きがいの醸成」について、**それぞれ1つ以上**の取組を行うこと。※処遇改善加算と特定加算とで、別の取組を行うことは要しない。

区分	内容
入職促進に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化
	<input type="checkbox"/> 事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築
	<input checked="" type="checkbox"/> 他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築
	<input checked="" type="checkbox"/> 職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	<input checked="" type="checkbox"/> 働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等
	<input checked="" type="checkbox"/> 研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動
	<input type="checkbox"/> エルダー・メンター(仕事やメンタル面のサポート等をする担当者)制度等導入
	<input checked="" type="checkbox"/> 上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保
両立支援・多様な働き方の推進	<input checked="" type="checkbox"/> 子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備
	<input checked="" type="checkbox"/> 有給休暇が取得しやすい環境の整備
	<input type="checkbox"/> 業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実
腰痛を含む心身の健康管理	<input checked="" type="checkbox"/> 介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施
	<input checked="" type="checkbox"/> 短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施
	<input type="checkbox"/> 雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施
	<input checked="" type="checkbox"/> 事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備
生産性向上のための業務改善の取組	<input checked="" type="checkbox"/> タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減
	<input type="checkbox"/> 高齢者の活躍(居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供)等による役割分担の明確化
	<input type="checkbox"/> 5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減
やりがい・働きがいの醸成	<input checked="" type="checkbox"/> ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施
	<input type="checkbox"/> 利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供
	<input checked="" type="checkbox"/> ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供

#### 5 見える化要件について<特定加算> ※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓)

実施している周知方法について、チェック(✓)すること。

変更なし

ホームページへの掲載	<input checked="" type="checkbox"/> 「介護サービス情報公表システム」への掲載	/	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載予定
	<input checked="" type="checkbox"/> 自社のホームページに掲載	/	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載予定
その他の方法による掲示等	<input type="checkbox"/> 事業所・施設の建物で、外部から見える場所への掲示	/	<input type="checkbox"/> 掲載予定
	<input type="checkbox"/> その他( )	/	<input type="checkbox"/> 予定

以下の点を確認し、全ての項目にチェックして下さい。

確認項目	証明する資料の例
<input checked="" type="checkbox"/> 加算相当額を適切に配分するための賃金改善ルールを定めました。	就業規則、給与規程
<input checked="" type="checkbox"/> 処遇改善加算として給付される額は、職員の賃金改善のために全額支出します。	給与明細
<input checked="" type="checkbox"/> 加算対象となる職員の勤務体制及び資格要件を確認しました。	勤務体制表、介護福祉士登録証
<input checked="" type="checkbox"/> キャリアパス要件Ⅱの資質向上の目標及び具体的な計画を定めました。	資質向上のための計画
<input checked="" type="checkbox"/> 労働基準法、労働災害補償保険法、最低賃金法、労働安全衛生法、雇用保険法その他の労働に関する法令に違反し、罰金以上の刑に処せられていません。	—
<input checked="" type="checkbox"/> 労働保険料の納付が適正に行われています。	労働保険関係成立届、確定保険料申告書
<input checked="" type="checkbox"/> 本計画書の内容を雇用する全ての職員に対して周知しました。	会議録、周知文書

※ 各証明資料は、指定権者からの求めがあった場合には、速やかに提出すること。

※ 本表への虚偽記載の他、介護職員処遇改善加算及び介護職員等特定処遇改善加算の請求に関して不正があった場合は、介護報酬の返還や指定取消となる場合がある。

計画書の記載内容に虚偽がないことを証明するとともに、記載内容を証明する資料を適切に保管していることを誓約します。

令和 4 年 4 月 1 日

法人名 社会福祉法人淳風会

代表者 職名 理事長

氏名 西村 良廣

別紙様式2-2 介護職員処遇改善計画書(施設・事業所別個表)

法人名 社会福祉法人淳風会

介護職員処遇改善加算額(見込額)の合計[円] 107,955,480

介護保険事業所番号	事業所の所在地		事業所名	サービス名	一月あたり介護報酬総単位数[単位(a)]	1単位あたりの単価[円](b)	新規・継続の別	算定する介護職員処遇改善加算の区分	加算率(c)	②		③										
	都道府県	市区町村								算定対象月(d)	介護職員処遇改善加算額 (a×b×c×d) [円]											
1	2	7	7	4	1	0	1	3	4	5	大阪府	大阪市北区	デイサービスセンター淳風おおさか	通所介護	599,161	10.72	継続	加算 I	5.90%	令和4年4月	令和5年3月	4,547,484
2	2	7	7	4	1	0	1	3	4	5	大阪府	大阪市北区	デイサービスセンター淳風おおさか	通所型サービス(総合事業)	11に同じ	10.72	継続	加算 I	5.90%	令和4年4月	令和5年3月	
3	2	7	7	4	1	0	1	3	7	大阪府	大阪市北区	特別養護老人ホーム淳風おおさか	介護老人福祉施設	2,305,539	10.72	継続	加算 I	8.30%	令和4年4月	令和5年3月	24,616,512	
4	2	7	7	4	1	0	1	3	7	大阪府	大阪市北区	特別養護老人ホーム淳風おおさか	短期入所生活介護	278,584	10.88	継続	加算 I	8.30%	令和4年4月	令和5年3月	3,018,864	
5	2	7	7	4	1	0	1	3	7	大阪府	大阪市北区	特別養護老人ホーム淳風おおさか	介護予防短期入所生活介護	4に同じ	10.88	継続	加算 I	8.30%	令和4年4月	令和5年3月		
6	2	7	7	0	3	0	0	8	3	寝屋川市	寝屋川市	訪問介護サービスグリーンヘル淳風	訪問介護	433,101	10.84	継続	加算 I	13.70%	令和4年4月	令和5年3月	7,718,268	
7	2	7	7	0	3	0	0	8	3	寝屋川市	寝屋川市	訪問介護サービスグリーンヘル淳風	訪問型サービス(総合事業)	6に同じ	10.84	継続	加算 I	13.70%	令和4年4月	令和5年3月		
8	2	7	7	0	3	0	3	5	3	寝屋川市	寝屋川市	グリーンヘル淳風デイサービス	地域密着型通所介護	187,919	10.54	継続	加算 I	5.90%	令和4年4月	令和5年3月	1,402,308	
9	2	7	7	0	3	0	3	5	3	寝屋川市	寝屋川市	グリーンヘル淳風デイサービス	通所型サービス(総合事業)	8に同じ	10.54	継続	加算 I	5.90%	令和4年4月	令和5年3月		
10	2	7	7	4	0	0	0	8	5	1	豊中市	豊中市	特別養護老人ホーム淳風とよなか	介護老人福祉施設	1,707,654	10.54	継続	加算 I	8.30%	令和4年4月	令和5年3月	17,926,668
11	2	7	7	4	0	0	0	8	5	1	豊中市	豊中市	特別養護老人ホーム淳風とよなか	短期入所生活介護	302,577	10.66	継続	加算 I	8.30%	令和4年4月	令和5年3月	3,212,568
12	2	7	7	4	0	0	0	8	5	1	豊中市	豊中市	特別養護老人ホーム淳風とよなか	介護予防短期入所生活介護	11に同じ	10.66	継続	加算 I	8.30%	令和4年4月	令和5年3月	
13	2	7	7	4	0	0	1	0	8	1	豊中市	豊中市	淳風とよなかデイサービスセンター	通所介護	580,004	10.54	継続	加算 I	5.90%	令和4年4月	令和5年3月	4,328,172
14	2	7	7	4	0	0	1	0	8	1	豊中市	豊中市	淳風とよなかデイサービスセンター	通所型サービス(総合事業)	13に同じ	10.54	継続	加算 I	5.90%	令和4年4月	令和5年3月	
15	2	7	7	4	0	0	3	5	9	0	豊中市	豊中市	訪問介護サービス淳風とよなか	訪問介護	508,800	10.84	継続	加算 I	13.70%	令和4年4月	令和5年3月	9,067,296
16	2	7	7	4	0	0	3	5	9	0	豊中市	豊中市	訪問介護サービス淳風とよなか	訪問型サービス(総合事業)	15に同じ	10.84	継続	加算 I	13.70%	令和4年4月	令和5年3月	
17	2	7	7	9	4	0	0	5	7	6	豊中市	豊中市	小規模多機能ホーム淳風ふたば	小規模多機能型居宅介護	503,090	10.66	継続	加算 I	10.20%	令和4年4月	令和5年3月	6,564,228

	(1)介護職員処遇改善加算										③						
	事業所の所在地		指定権者名	事業所名	サービス名	一月あたり 介護報酬 総単位数 [単位(a)]	1単位あ たりの単 価[円(b)]	新規・継続の 別	算定する 介護職員 処遇改善 加算の区 分	加 算 率 (c)		算定対象月(d)	介護職員処遇 改善加算の見 込額 (a×b×c×d) [円]				
	都道府県	市区町村															
18	27	94	00	57	6	豊中市	大阪府	豊中市	小規模多機能ホーム淳風ふたば	介護予防小規模多機能型居宅介護	17に同じ	10.66	継続	加算 I	10.20%	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	
19	27	94	00	87	3	豊中市	大阪府	豊中市	地域密着型特別養護老人ホーム淳風とよなか	地域密着型介護老人福祉施設	956,923	10.54	継続	加算 I	8.30%	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	10,045,620
20	27	74	00	87	8	豊中市	大阪府	豊中市	ユニット型淳風とよなかジョイントステイ	短期入所生活介護	316,071	10.66	継続	加算 I	8.30%	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	3,355,836
21	27	74	00	87	8	豊中市	大阪府	豊中市	ユニット型淳風とよなかジョイントステイ	介護予防短期入所生活介護	20に同じ	10.66	継続	加算 I	8.30%	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	
22	27	70	40	00	7	大阪市	大阪府	大阪市	市岡東地域在宅サービスステーションさくら	通所介護	790,662	10.72	継続	加算 I	5.90%	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	6,000,924
23	27	72	40	00	7	大阪市	大阪府	大阪市	市岡東地域在宅サービスステーションさくら	通所型サービス(総合事業)	22に同じ	10.72	継続	加算 I	5.90%	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	
24	27	70	40	02	4	大阪市	大阪府	大阪市	ホームヘルプセンターさくら	訪問介護	336,450	11.12	継続	加算 I	13.70%	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	6,150,732
25	27	70	40	02	4	大阪市	大阪府	大阪市	ホームヘルプセンターさくら	訪問型サービス(総合事業)	24に同じ	11.12	継続	加算 I	13.70%	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	

法人名	社会福祉法人淳風会
介護職員等特定処遇改善加算額(見込額)の合計[円]	33,903,288

介護保険事業所番号	指定権者名	事業所の所在地		事業所名	サービス名	一月あたり 介護報酬 総単位数 [単位(a)]	1単位 あたりの 単価[円] (b)	新規・ 継続 の別	算定する介護 職員等特定 処遇改善加 算の区分	加 算 率 (e)	介護福祉士配置等要件	算定対象月(d)	(a)×(b)×(c) [円]
		都道府県	市区町村										
1	2774101345	大阪府	大阪市北区	デイサービスセンター淳風おおさか	通所介護	599,161	10.72	継続	特定加算Ⅰ	1.2%	サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	924,912
2	2774101345	大阪府	大阪市北区	デイサービスセンター淳風おおさか	通所型サービス(総合事業)	1に同じ	10.72	継続	特定加算Ⅰ	1.2%	又は(Ⅱ)に準じる市町村独自の加算	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	
3	2774101337	大阪府	大阪市北区	特別養護老人ホーム淳風おおさか	介護老人福祉施設	2,305,539	10.72	継続	特定加算Ⅰ	2.7%	日常生活継続支援加算(Ⅰ)又は(Ⅱ)	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	8,007,780
4	2774101337	大阪府	大阪市北区	特別養護老人ホーム淳風おおさか	短期入所生活介護	278,584	10.88	継続	特定加算Ⅰ	2.7%	サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	982,032
5	2774101337	大阪府	大阪市北区	特別養護老人ホーム淳風おおさか	介護予防短期入所生活介護	4に同じ	10.88	継続	特定加算Ⅰ	2.7%	サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	
6	2770300883	大阪府	寝屋川市	訪問介護サービスグリーンヒル淳風	訪問介護	433,101	10.84	継続	特定加算Ⅰ	6.3%	特定事業所加算(Ⅱ)	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	3,549,276
7	2770300883	大阪府	寝屋川市	訪問介護サービスグリーンヒル淳風	訪問型サービス(総合事業)	6に同じ	10.84	継続	特定加算Ⅰ	6.3%	特定事業所加算(Ⅰ)又は(Ⅱ)に準じる市町村独自の加算	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	
8	2770303531	大阪府	寝屋川市	グリーンヒル淳風デイサービス	地域密着型通所介護	187,919	10.54	継続	特定加算Ⅰ	1.2%	サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	285,204
9	2770303531	大阪府	寝屋川市	グリーンヒル淳風デイサービス	通所型サービス(総合事業)	8に同じ	10.54	継続	特定加算Ⅰ	1.2%	又は(Ⅱ)に準じる市町村独自の加算	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	
10	2774100851	豊中市	豊中市	特別養護老人ホーム淳風とよなか	介護老人福祉施設	1,707,654	10.54	継続	特定加算Ⅰ	2.7%	日常生活継続支援加算(Ⅰ)又は(Ⅱ)に準じる市町村独自の加算	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	5,831,568
11	2774100851	豊中市	豊中市	特別養護老人ホーム淳風とよなか	短期入所生活介護	302,577	10.66	継続	特定加算Ⅰ	2.7%	等特定処遇改善加算Ⅰの届出あり	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	1,045,044
12	2774100851	豊中市	豊中市	特別養護老人ホーム淳風とよなか	介護予防短期入所生活介護	11に同じ	10.66	継続	特定加算Ⅰ	2.7%	併せて特定処遇改善加算Ⅰの届出あり	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	
13	2774101081	豊中市	豊中市	淳風とよなかデイサービスセンター	通所介護	580,004	10.54	継続	特定加算Ⅰ	1.2%	サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	880,296
14	2774101081	豊中市	豊中市	淳風とよなかデイサービスセンター	通所型サービス(総合事業)	13に同じ	10.54	継続	特定加算Ⅰ	1.2%	又は(Ⅱ)に準じる市町村独自の加算	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	
15	2774103590	豊中市	豊中市	訪問介護サービス淳風とよなか	訪問介護	508,800	10.84	継続	特定加算Ⅰ	6.3%	特定事業所加算(Ⅱ)	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	4,169,628
16	2774103590	豊中市	豊中市	訪問介護サービス淳風とよなか	訪問型サービス(総合事業)	15に同じ	10.84	継続	特定加算Ⅰ	6.3%	特定事業所加算(Ⅰ)又は(Ⅱ)に準じる市町村独自の加算	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	
17	2794100576	豊中市	豊中市	小規模多機能老人ホーム淳風ふたば	小規模多機能型居宅介護	503,090	10.66	継続	特定加算Ⅰ	1.5%	サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	965,328
18	2794100576	豊中市	豊中市	小規模多機能老人ホーム淳風ふたば	介護予防小規模多機能型居宅介護	17に同じ	10.66	継続	特定加算Ⅰ	1.5%	サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	
19	2794100873	豊中市	豊中市	地域密着型特別養護老人ホーム淳風とよなか	地域密着型介護老人福祉施設	956,923	10.54	継続	特定加算Ⅰ	2.7%	日常生活継続支援加算(Ⅰ)又は(Ⅱ)	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	3,267,852
20	2774100878	豊中市	豊中市	ユニット型淳風とよなかショートステイ	短期入所生活介護	315,071	10.66	継続	特定加算Ⅰ	2.7%	サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	1,091,652
21	2774100878	豊中市	豊中市	ユニット型淳風とよなかショートステイ	介護予防短期入所生活介護	20に同じ	10.66	継続	特定加算Ⅰ	2.7%	サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	
22	2770400711	大阪府	大阪市	市岡東地域在宅サービスセンターさくら	通所介護	790,662	10.72	継続	特定加算Ⅱ	1.0%	いずれも取得していない	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	1,017,096
23	2772400711	大阪府	大阪市	市岡東地域在宅サービスセンターさくら	通所型サービス(総合事業)	22に同じ	10.72	継続	特定加算Ⅱ	1.0%	いずれも取得していない	令和4年4月～令和5年3月(12ヶ月)	



(2)介護職員等特定処遇改善加算																								
	介護保険事業所番号			指定権者名		事業所の所在地		事業所名	サービス名	1月あたり 介護報酬 総単位数 [単位]⑥	1単位 あたりの 単価[円] ⑦	新規・ 継続 の別	算定する介護 職員等特定 処遇改善加 算の区分	加 算 率 ( e )	介護福祉士配置等要件	(4)	⑤							
						都道府県	市区町村																	
24	2	7	7	0	4	0	0	2	4	6	大阪府	大阪市	ホームヘルプセンターさくら	訪問介護	ホームヘルプセンターさくら	336,450	11,12	継続	特定加算Ⅱ	4.2%	介護福祉士配置等要件	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	介護職員等特 定処遇改善加 算の見込額 (a×b×e×f) [円]	1,885,620
25	2	7	7	0	4	0	0	2	4	6	大阪府	大阪市	ホームヘルプセンターさくら	訪問型サービス(総合事業)	ホームヘルプセンターさくら	24に同じ	11,12	継続	特定加算Ⅱ	4.2%	介護福祉士配置等要件	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)		

## 障害福祉サービス等処遇改善計画書(令和 4 年度)

(福祉・介護職員処遇改善計画書、福祉・介護職員等特定処遇改善計画書)

## 1 基本情報&lt;共通&gt;

フリガナ	シャカイフクシホウジンジュンブウカイ				
法人名	社会福祉法人淳風会				
法人所在地	〒	531-0075			
	大阪市北区大淀南2-5-20				
フリガナ	ニッタユウキ・ヤマザキ テルアキ				
書類作成担当者	新田有規・山崎 輝明				
連絡先	電話番号	06-6450-1121	FAX番号	06-6585-3388	E-mail honbu@junpu-kai.or.jp

【本計画書で提出する加算】 ※加算名をチェックすること。

 福祉・介護職員処遇改善加算(処遇改善加算) 福祉・介護職員等特定処遇改善加算(特定加算)

## 2 賃金改善計画について&lt;共通&gt;

※本計画に記載された金額は見込額であり、提出後の運営状況(利用者数等)、人員配置状況(職員数等)その他の事由により変動があり得る。

※本様式のオレンジセルでは下記の要件を確認しており、セルが「○」でない場合、加算の算定要件を満たしていない。

- I 福祉・介護職員の賃金改善の見込額が、処遇改善加算の算定見込額を上回ること  
 II 福祉・介護職員その他の職員の賃金改善の見込額が、特定加算の算定見込額を上回ること

## (1)福祉・介護職員処遇改善加算のみ計画する場合

① 算定する処遇改善加算の区分	※ 別紙様式2-2のとおり	
② 処遇改善加算の算定対象月		
③ 令和 4 年度処遇改善加算の見込額		116,088 円
④ 賃金改善の見込額(i-ii)	(右欄の額は③欄の額を上回ること)	
i) 処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の福祉・介護職員の賃金の総額(見込額)		円
ii) 前年度の福祉・介護職員の賃金の総額(処遇改善加算等取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)【基準額1】(ア)-(イ)-(ウ)-(エ)		円
(ア)前年度の福祉・介護職員の賃金の総額		円
(イ)前年度の処遇改善加算の総額		円
(ウ)前年度の特定加算のうち福祉・介護職員に支給された額 (前年度に特定加算を算定していた場合のみ)		円
(エ)前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額		円
⑤ 賃金改善実施期間	令和 年 月 ~ 令和 年 月	

要件 I

## 【記入上の注意】

- 処遇改善加算のみの計画である場合は、以下の2(2)、(3)、(4)口、5の記載は不要である。
- (1)④ i)の「処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の福祉・介護職員の賃金の総額(見込額)」及びii) (ア)の「前年度の福祉・介護職員の賃金の総額」には、福祉・介護職員処遇改善加算による賃金改善を行った場合の法定福利費等の事業主負担の増加分を含めることができ、(1)④ i)の「処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の福祉・介護職員の賃金の総額(見込額)」には、特定加算、処遇改善臨時特例交付金及び令和4年度新加算(仮称)を取得し実施される賃金の改善見込額を除いた額を記載すること。(令和4年度新加算を取得する意向のある事業所は、(1)④ i)の額には、令和4年10月から賃金改善実施期間の最終月(原則として令和5年3月)までの期間に同加算を取得し実施される賃金の改善見込額を除いた額を記載すること。その際、当該改善見込額は、1月あたりの交付金の平均見込額に、同加算を取得する月数を乗じることによって算出すること。)
- ※1月あたりの交付金の平均見込額は、(参考)交付金別紙様式2-1の「2 賃金改善計画について」①の額を、交付金の交付対象期間の月数で除した額とする。なお、交付金を取得せず、令和4年度新加算(仮称)を取得する意向のある事業所は、仮に交付金を取得する場合の1月あたりの交付金の平均見込額を算出すること。
- (1)④ ii) (イ)の「前年度の処遇改善加算の総額」及び(ウ)の「前年度の特定加算のうち福祉・介護職員に支給された額」は、都道府県国民健康保険団体連合会から通知される「福祉・介護職員処遇改善加算等総額のお知らせ」に基づき記載すること。(ただし、特定加算の額については、福祉・介護職員に支給された額のみを計上すること。)
- (1)④ ii) (エ)の「前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額」は、本計画書の提出の前年度における独自の賃金改善分(初めて処遇改善加算を取得した年度以降に新たに行ったものに限る。)をいう。(処遇改善加算等に係るものを除く。)本欄に記載した賃金改善については、「(4)ハ 障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善」欄に支給額、方法等の具体的な賃金改善の内容を記載すること。

(2) 福祉・介護職員処遇改善加算(特定加算も併せて計画する場合)

① 算定する処遇改善加算の区分	※ 別紙様式2-2のとおり	
② 処遇改善加算の算定対象月		
③ 令和 4 年度処遇改善加算の見込額	116,088	円
④ 賃金改善の見込額(i-ii) (右欄の額は③欄の額を上回ること)	116,089	円
i) 処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額) (経験・技能のある障害福祉人材(A)と他の障害福祉人材(B)の総額)	721,564	円
ii) 前年度の賃金の総額(処遇改善加算等を取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)【基準額1】(ア)-(イ)-(ウ)-(エ)	605,475	円
(ア)前年度の経験・技能のある障害福祉人材(A)と他の障害福祉人材(B)の賃金の総額	712,960	円
(イ)前年度の処遇改善加算の総額	89,845	円
(ウ)前年度の特定加算の総額(その他の職種(C)に支給された額を除く)	17,640	円
(エ)前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額		円
⑤ 賃金改善実施期間	令和 4 年 6 月 ~ 令和 5 年 5 月	

要件 I



【記入上の注意】

- (2)④ i) の「処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」及び④ ii) (ア)の「前年度の経験・技能のある障害福祉人材(A)と他の障害福祉人材(B)の賃金の総額」について、処遇改善加算における賃金改善対象職種はこれまでと変更は無いが、特定加算との兼ね合いにより便宜的に「経験・技能のある障害福祉人材(A)」と「他の障害福祉人材(B)」の賃金同士で比較するものとする。
- (2)④ i) の「処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」及び④ ii) (ア)の「前年度の経験・技能のある障害福祉人材(A)と他の障害福祉人材(B)の賃金の総額」には、処遇改善加算による賃金改善を行った場合の法定福利費等の事業主負担の増加分を含めることができる。
- (2)④ i) の「処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」には、特定加算、処遇改善臨時特例交付金及び令和4年度新加算を取得し実施される賃金の改善見込額を除いた額を記載すること。(令和4年度新加算を取得する意向のある事業所は、(1)④ i) の額には、令和4年10月から賃金改善実施期間の最終月(原則として令和5年3月)までの期間に同加算を取得し実施される賃金の改善見込額を除いた額を記載すること。その際、当該改善見込額は、1月あたりの交付金の平均見込額に、同加算を取得する月数を乗じることによって算出すること。)  
※1月あたりの交付金の平均見込額は、(参考)交付金別紙様式2-1の「2 賃金改善計画について」①の額を、交付金の交付対象期間の月数で除した額とする。なお、交付金を取得せず、令和4年度新加算(仮称)を取得する意向のある事業所は、仮に交付金を取得する場合の1月あたりの交付金の平均見込額を算出すること。
- (2)④ ii) (イ)の「前年度の処遇改善加算の総額」及び(ウ)の「前年度の特定加算の総額」は、都道府県国民健康保険団体連合会から通知される「福祉・介護職員処遇改善加算等総額のお知らせ」に基づき記載すること。ただし、特定加算の加算額については、その他の職種(C)に支給された額を除くこと。
- (2)④ ii) (エ)の「前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額」は、本計画書の提出年度における独自の賃金改善分(初めて処遇改善加算を取得した年度以降に新たに行ったものに限る。)をいう。(処遇改善加算等に係るものを除く。)本欄に記載した賃金改善については、「(4)ハ 障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善」欄に支給額、方法等の具体的な賃金改善の内容を記載すること。

(3) 福祉・介護職員等特定処遇改善加算

① 算定する特定加算の区分				
② 処遇改善加算の取得状況	※①、③ 別紙様式2-3のとおり、② 別紙2-2のとおり			
③ 特定加算の算定対象月				
④ 令和 4 年度特定加算の見込額(g)			25,233 円	
⑤ 賃金改善の見込額(i-ii)	(右欄の額は④欄の額を上回ること)		25,234 円	
i) 特定加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)			665,454 円	
ii) 前年度の賃金の総額(処遇改善加算等取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)【基準額2】(ア)-(イ)-(ウ)-(エ)			640,220 円	
(ア)前年度の賃金の総額			747,705 円	
(イ)前年度の処遇改善加算の総額			89,845 円	
(ウ)前年度の特定加算の総額			17,640 円	
(エ)前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額			円	
⑥ 平均賃金改善額	経験・技能のある障害福祉人材(A)	他の障害福祉人材(B)	その他の職種(C)	
i) 前年度の賃金の総額(処遇改善加算等取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)(h)	273,812 円	377,743 円	33,976 円	
ii) 前年度の常勤換算職員数(i)	0.6 人	1.4 人	0.2 人	
iii) 前年度の一月当たりの常勤換算職員数(j)	0.1 人	0.1 人	0.1 人	
iv) 前年度のグループ毎の平均賃金額(月額)【基準額3】(h)/(i)	456,353 円	269,816 円	169,880 円	
v) グループ毎の平均賃金改善額(月額)(g)/(j)/(k) ※予定している配分方法について選択すること。(いずれか1つ) ※当該年度の特定加算の見込額と前年度の一月当たりの常勤換算方法により算出した職員数から算出した一人当たり配分額(月額)。(括弧内はグループ毎に配分可能な加算総額(年額))	<input type="radio"/> (A)のみ実施 ( 25,234 円 ) ( 25,234 円 )			
	<input type="radio"/> (A)及び(B)を実施 ( #DIV/0! 円 ) ( #DIV/0! 円 ) ( #DIV/0! 円 )	#DIV/0! 円	#DIV/0! 円	
	<input checked="" type="radio"/> (A)(B)(C)全て実施 ( 25,234 円 ) ( 10,739 円 ) ( 9,664 円 ) ( 4,831 円 )	8,949 円	8,053 円	4,026 円
	<input type="radio"/> 上記以外の方法で実施 ( 0 円 ) ( 0 円 ) ( 0 円 ) ( 0 円 )			
	月額平均8万円の賃金改善となる者又は改善後の賃金が年額440万円となる者	0 人(見込)		
(「月額平均8万円の賃金改善又は改善後の賃金が年額440万円以上となる者」を設定できない場合その理由)				
<input checked="" type="checkbox"/> 小規模事業所等で加算額全体が少額であるため。 <input type="checkbox"/> 職員全体の賃金水準が低く、直ちに月額平均8万円等まで賃金を引き上げることが困難であるため。 <input type="checkbox"/> 月額平均8万円等の賃金改善を行うに当たり、これまで以上に事業所内の階層や役職にある者に求められる能力や処遇を明確化することが必要であり、規程の整備や研修・実務経験の蓄積などに一定期間を要するため。 <input type="checkbox"/> その他( )				
⑦ 賃金改善実施期間(k)	令和 4 年 6 月 ~ 令和 5 年 5 月 ( 12 か月 )			

【記入上の注意】

- (2)⑤ i) の「特定加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」には、特定加算による賃金改善に伴う法定福利費等の事業主負担の増加分を含めることができる。
- (2)⑤ i) の「特定加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」には、処遇改善加算、処遇改善臨時特例交付金及び令和4年度新加算を取得し実施される賃金改善額を除いた額を記載すること。(令和4年度新加算を取得する意向のある事業所は、(2)⑥ i) の額には、令和4年10月から賃金改善実施期間の最終月(原則として令和5年3月)までの期間に同加算を取得し実施される賃金の改善見込額を除いた額を記載すること。その際、当該改善見込額は、1月あたりの補助金の平均見込額に、同加算を取得する月数を乗じることによって算出すること。) ※1月あたりの交付金の平均見込額は、(参考)交付金別紙様式2-1の「2 賃金改善計画について」①の額を、交付金の交付対象期間の月数で除した額とする。なお、交付金を取得せず、令和4年度新加算(仮称)を取得する意向のある事業所は、仮に交付金を取得する場合の1月あたりの交付金の平均見込額を算出すること。
- (2)⑤ ii) (イ)の「前年度の処遇改善加算の総額」及び(ウ)の「前年度の特定加算の総額」は、都道府県国民健康保険団体連合会から通知される「福祉・介護職員処遇改善加算等総額のお知らせ」に基づき記載すること。
- (2)⑤ ii) (エ)の「前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額」は、本計画書の提出年度における独自の賃金改善分(初めて処遇改善加算を取得した年度以降に新たに行ったものに限る。)をいう。(処遇改善加算等に係るものを除く。)本欄に記載した賃金改善については、「(4)ハ 障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善」欄に支給額、方法等の具体的な賃金改善の内容を記載すること。
- (2)⑥ i) の「前年度の賃金の総額(処遇改善加算等取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)」には、一括申請を行う場合については、原則として、前年1月から12月までの賃金の総額を記載すること。ただし、「その他の職種(C)」には、賃金改善前の賃金が既に年額440万円を上回る職員の賃金を含まないこと。
- (2)⑥ iii) の「前年度の一月当たりの常勤換算職員数」には、一括申請を行う場合については、原則として、本計画書を提出する前月の常勤換算方法により算出した職員数を記載すること。ただし、「その他の職種(C)」については、実人数によることもできる。

#### (4)賃金改善を行う賃金項目及び方法

##### イ 福祉・介護職員処遇改善加算

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓)  変更なし

賃金改善を行う給与の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 基本給 <input type="checkbox"/> 手当(新設) <input checked="" type="checkbox"/> 手当(既存の増額) <input type="checkbox"/> 賞与 <input type="checkbox"/> その他
具体的な取組内容	(当該事業所における賃金改善の内容の根拠となる規則・規程) <input type="checkbox"/> 就業規則の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 賃金規程の見直し <input type="checkbox"/> その他 ( ) (賃金改善に関する規定内容) ・正職員 平成21年4月～令和3年3月分までの基本給(職能給)月額5,000円底上げ 平成21年4月～令和4年3月分までの資格手当月額8,000円増額、夜勤手当1回5,000円増額、役職手当(チーフ)月額10,000円増額(主任)月額4,000円増額、年末年始手当1日2,000円増額 業績により変動が生じた場合、5月に常勤換算に応じた一時金を支給する事がある。 ・契約職員 平成21年4月～令和3年3月分までの時給100円増額 平成21年4月～令和4年3月分までの有資格者(介護福祉士)に時給50円増額、5:00～8:00/18:00～22:00勤務者に時給100円増額、]日曜/祝日勤務者に時給50円増額、年末年始手当時給250円増額、夜勤手当1回5,000円増額 業績により変動が生じた場合、5月に常勤換算に応じた一時金を支給する事がある。 ※上記の根拠規程のうち、賃金改善に関する部分を記載すること。 ※前年度に提出した計画書から変更がある場合には、変更箇所を下線とするなど明確にすること。 (上記取組の開始時期)    平成    24    年    4    月 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 予定 )

##### ロ 福祉・介護職員等特定処遇改善加算

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓)  変更なし

経験・技能のある障害福祉人材の考え方	介護福祉士有資格者でかつ介護従事経験10年の者又は育成等級(法人内の等級:職能・キャリア段位のようなもの)Ⅲ級以上の者
賃金改善を行う職員の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> (A)経験・技能のある障害福祉人材 <input checked="" type="checkbox"/> (B)他の障害福祉人材 <input checked="" type="checkbox"/> (C)その他の職種 ((A)にチェック(✓)がない場合その理由)
賃金改善を行う給与の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 基本給 <input checked="" type="checkbox"/> 手当(新設) <input type="checkbox"/> 手当(既存の増額) <input type="checkbox"/> 賞与 <input type="checkbox"/> その他
具体的な取組内容	(当該事業所において賃金改善内容の根拠となる規則・規程) <input checked="" type="checkbox"/> 就業規則の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 賃金規程の見直し <input type="checkbox"/> その他 ( ) (賃金改善に関する規定内容) ・正職員、契約職員共通 介護職員等特定処遇改善手当として加算入金月に支給する。 例.令和4年4月提供分 ⇒ 令和4年6月支給 令和4年5月提供分 ⇒ 令和4年7月支給 以降提供月から2か月後(加算入金月)の支給 経験・技能のある介護職員(A) 手当額 正職員月額13,200円 契約職員時給79円 他の介護職員(B) 手当額 正職員月額11,900円 契約職員時給71円 その他の職種(C) 手当額 正職員月額 9,917円 契約職員時給47円 業績により金額に変動が生じる場合あり。 ※上記の根拠規程のうち、賃金改善に関する部分を記載すること。 資格・手当等を含めて賃金改善を行う場合は、その旨を記載すること。 ※前年度に提出した計画書から変更がある場合には、変更箇所を下線とするなど明確にすること。 (上記取組の開始時期)    令和    4    年    4    月 ( <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 予定 )

##### ハ 各障害福祉サービス事業者等による処遇改善加算、特定加算の配分を除く独自の賃金改善

「(1)④ii)(エ)」、「(2)④ii)(エ)又は「(3)⑤ii)(エ)」の「前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額」に計上する場合は記載

独自の賃金改善の具体的な取組内容	
独自の賃金改善額の算定根拠	

### 3 キャリアパス要件について〈処遇改善加算〉

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓)  変更なし

次の要件について該当するものにチェック(✓)し、必要事項を具体的に記載すること。

<b>キャリアパス要件Ⅰ 次のイからハまでのすべての基準を満たす。</b>		加算Ⅰ・Ⅱの場合は必ず「該当」 <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当
イ	福祉・介護職員の任用における職位、職責又は職務内容等の要件を定めている。	
ロ	イに掲げる職位、職責又は職務内容等に応じた賃金体系を定めている。	
ハ イ、ロについて、就業規則等の明確な根拠規定を書面で整備し、全ての福祉・介護職員に周知している。		

<b>キャリアパス要件Ⅱ 次のイとロ両方の基準を満たす。</b>		加算Ⅰ・Ⅱの場合は必ず「該当」 <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当
イ	福祉・介護職員の職務内容等を踏まえ、福祉・介護職員と意見交換しながら、資質向上の目標及び①、②に関する具体的な計画を策定し、研修の実施又は研修の機会を確保している。	
	イの実現のための具体的な取組内容 (該当する項目にチェック(✓)した上で、具体的な内容を記載)	<p>資質向上のための計画に沿って、研修機会の提供又は技術指導等を実施するとともに、福祉・介護職員の能力評価を行う。 ※当該取組の内容について下記に記載すること</p> <p>・年度計画を立案し、以下の内容を職員会議にて内部研修を実施している。(職員一律) 倫理・法令遵守、感染症・食中毒、地域貢献、苦情・事故防止、身体拘束・虐待防止、認知症・精神疾患、基本的人権、防災、看取り介護、地域包括ケア、褥瘡予防</p> <p>・年度計画として個人研修・評価シートを作成し外部研修へ参加してもらっている。(職員個別) 上司と面談の上、年度の重要テーマと目標を設定。それを達成するために役立つ外部研修への参加を計画。</p> <p>資格取得のための支援の実施 ※当該取組の内容について下記に記載すること</p> <p>希望者が介護福祉士修学資金貸付制度を利用出来るように法人が連帯保証人となっている。</p>
ロ	イについて、全ての福祉・介護職員に周知している。	

<b>キャリアパス要件Ⅲ 次のイとロ両方の基準を満たす。</b>		加算Ⅰの場合は必ず「該当」 <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当
イ	福祉・介護職員について、経験若しくは資格等に応じて昇給する仕組み又は一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組みを設けている。	
	具体的な仕組みの内容(該当するもの全てにチェック(✓)すること。)	<p>① 経験に応じて昇給する仕組み ※「勤続年数」や「経験年数」などに応じて昇給する仕組みを指す。</p> <p>② 資格等に応じて昇給する仕組み ※「介護福祉士」や「実務者研修修了者」などの取得に応じて昇給する仕組みを指す。ただし、介護福祉士資格を有して就業する者についても昇給が図られる仕組みであることを要する。</p> <p>③ 一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組み ※「実技試験」や「人事評価」などの結果に基づき昇給する仕組みを指す。ただし、客観的な評価基準や昇給条件が明文化されていることを要する。</p>
ロ	イについて、全ての福祉・介護職員に周知している。	

※要件Ⅲを満たす(加算Ⅰを算定する)場合、昇給する仕組みを具体的に記載している就業規則等について、指定権者からの求めがあった場合には速やかに提出できるよう、適切に保管すること。

#### 4 職場環境等要件について<共通>

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓)  変更なし

##### 【処遇改善加算】

届出に係る計画の期間中に実施する事項について、全体で**必ず1つ以上**にチェック(✓)すること。ただし、記載するに当たっては、選択したキャリアパスに関する要件で求められている事項と重複する事項を記載しないこと。

##### 【特定加算】

届出に係る計画の期間中に実施する事項について、必ず**全て**にチェック(✓)すること。複数の取組を行い、「入職促進に向けた取組」、「資質の向上やキャリアアップに向けた支援」、「両立支援・多様な働き方の推進」、「腰痛を含む心身の健康管理」、「生産性向上のための業務改善の取組」及び「やりがい・働きがいの構成」の**6つの区分から任意で3つの区分を選択し、選択した区分でそれぞれ1つ以上の取組を行うこと**。なお、処遇改善加算と特定加算とで、別の取組を行うことは要しない。

※ 前年度から引き続き加算を算定する場合であり、かつ、前年度に職場環境等要件を満たす取組実績がある事業所において、合理的な理由により当該期間中の実施が困難と見込まれる場合は、当該理由を明記することで、例外的に要件を充たしているものとして差し支えない。なお、その場合であっても、できる限り実施に努めることとする。

分類	内容	
入職促進に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/>	法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化
	<input type="checkbox"/>	事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築
	<input checked="" type="checkbox"/>	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築
	<input checked="" type="checkbox"/>	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	<input checked="" type="checkbox"/>	働きながら介護福祉士等の取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等
	<input checked="" type="checkbox"/>	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動
	<input type="checkbox"/>	エルダー・メンター(仕事やメンタル面のサポート等をする担当者)制度等の導入
	<input checked="" type="checkbox"/>	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保
両立支援・多様な働き方の推進	<input checked="" type="checkbox"/>	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指すための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備
	<input checked="" type="checkbox"/>	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員が正規職員への転換の制度等の整備
	<input checked="" type="checkbox"/>	有給休暇が取得しやすい環境の整備
	<input type="checkbox"/>	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実
	<input type="checkbox"/>	障害を有する者でも働きやすい職場環境の構築や勤務シフトの配慮
腰痛を含む心身の健康管理	<input checked="" type="checkbox"/>	福祉・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等の導入及び研修等による腰痛対策の実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施
	<input type="checkbox"/>	雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備
生産性向上のための業務改善の取組	<input checked="" type="checkbox"/>	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減
	<input type="checkbox"/>	高齢者の活躍(居室やフロア等の掃除、食事の配膳、下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供)等による役割分担の明確化
	<input type="checkbox"/>	5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減
やりがい・働きがいの構成	<input checked="" type="checkbox"/>	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善
	<input checked="" type="checkbox"/>	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施
	<input type="checkbox"/>	利用者本位の支援方針など障害福祉や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供
	<input checked="" type="checkbox"/>	支援の好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供
合理的な理由により期間中の実施が困難な場合 ※ 上記のうち、前年度に取組実績がある項目にチェック(✓)すること。		<input type="checkbox"/> 理由:

#### 5 見える化要件について<特定加算>

※ 職場環境等要件の変更に伴う情報公表システムの改修を予定していることから、令和3年度及び4年度は算定要件としない。

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓)  変更なし

実施している周知方法について、チェック(✓)すること。

ホームページへの掲載	<input checked="" type="checkbox"/>	「障害福祉サービス等情報公表検索サイト」への掲載	/	<input checked="" type="checkbox"/>	掲載予定
	<input checked="" type="checkbox"/>	自社のホームページに掲載	/	<input checked="" type="checkbox"/>	掲載予定
その他の方法による掲示等	<input type="checkbox"/>	事業所・施設の建物で、外部から見える場所への掲示	/	<input type="checkbox"/>	掲載予定
	<input type="checkbox"/>	その他( )	/	<input type="checkbox"/>	予定

## 6 届出に係る根拠資料について<共通>

以下の点を確認し、全ての項目にチェックして下さい。

確認項目	証明する資料の例
<input checked="" type="checkbox"/> 加算相当額を適切に配分するための賃金改善ルールを定めました。	就業規則、給与規程
<input checked="" type="checkbox"/> 処遇改善加算として給付される額は、職員の賃金改善のために全額支出します。	給与明細
<input checked="" type="checkbox"/> 加算対象となる職員の勤務体制及び資格要件を確認しました。	勤務体制表、介護福祉士登録証等
<input checked="" type="checkbox"/> キャリアパス要件Ⅱの資質向上の目標及び具体的な計画を定めました。	資質向上のための計画
<input checked="" type="checkbox"/> 労働基準法、労働災害補償保険法、最低賃金法、労働安全衛生法、雇用保険法その他の労働に関する法令に違反し、罰金以上の刑に処せられていません。	—
<input checked="" type="checkbox"/> 労働保険料の納付が適正に行われています。	労働保険関係成立届、確定保険料申告書
<input checked="" type="checkbox"/> 本計画書の内容を雇用する全ての職員に対して周知しました。	会議録、周知文書

※ 各証明資料は、指定権者からの求めがあった場合には、速やかに提出すること。

※ 本表への虚偽記載の他、福祉・介護職員処遇改善加算及び福祉・介護職員等特定処遇改善加算の請求に関して不正があった場合は、介護給付費等の返還や事業所の指定取消となる場合がある。

計画書の記載内容に虚偽がないことを証明するとともに、記載内容を証明する資料を適切に保管していることを誓約します。

令和 4 年 4 月 1 日

法人名 社会福祉法人淳風会

代表者 職名 理事長

氏名 西村 良廣



別紙様式2-2 福祉・介護職員処遇改善計画書(施設・事業所別(個表))

法人名 社会福祉法人淳風会

福祉・介護職員処遇改善加算額(県立額)の合計[円] 116,088

障害福祉サービス等 事業所番号	指定権者名	事業所の所在地		事業所名	サービス名	一月あたり(処 遇改善加算等 を除いた)障害 福祉サービス等 報酬総額[円](a)	(1)福祉・介護職員処遇改善加算 新規・継続の 別	(1)算定する 福祉・介 護職員処 遇改善加 算の区分	加 算 率 ( b )	算定対象月(c)			福祉・介護職 員処遇改善加 算の算込額 (a×b×c) [円]
		都道府県	市区町村							4年	5年	3月(12ヶ月)	
12710301553	寝屋川市	大阪府	寝屋川市	訪問介護サービスグリーンヘルス淳風	居宅介護	35,309	継続	加算 I	27.4%	4年	5年	3月(12ヶ月)	116,088
22710301553	寝屋川市	大阪府	寝屋川市	訪問介護サービスグリーンヘルス淳風	重度訪問介護	0	継続	加算 I	20.0%	4年	5年	3月(12ヶ月)	0
3										令和	令和	4月(7月)	
4										令和	令和	4月(7月)	
5										令和	令和	4月(7月)	
6										令和	令和	4月(7月)	
7										令和	令和	4月(7月)	
8										令和	令和	4月(7月)	
9										令和	令和	4月(7月)	
10										令和	令和	4月(7月)	
11										令和	令和	4月(7月)	
12										令和	令和	4月(7月)	
13										令和	令和	4月(7月)	
14										令和	令和	4月(7月)	
15										令和	令和	4月(7月)	
16										令和	令和	4月(7月)	
17										令和	令和	4月(7月)	
18										令和	令和	4月(7月)	
19										令和	令和	4月(7月)	
20										令和	令和	4月(7月)	

別紙様式2-3 福祉・介護職員等特定処遇改善計画書(施設・事業所別個表)

法人名	社会福祉法人淳風会
福祉・介護職員等特定処遇改善加算額(見込額)の合計[円]	25,233

障害福祉サービス等 事業所番号	指定権者名	事業所の所在地		事業所名	サービス名	一月あたり(処 遇改善加算等 を除いた)障害 福祉サービス等 報酬総額[円](a)	(1) 新規・ 継続 の別	算定する福 祉・介護職員 等特定処遇 改善加算の 区分	加 算 率 ( d )	配置等要件	(3) 算定対象月(e)					(4) 福祉・介護職 員等特定処遇 改善加算の見 込額 (a×d×e) [円]	
		都道府県	市区町村								令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年		令和9年
12710301553	寝屋川市	大阪府	寝屋川市	訪問介護サービスグリーンヘル淳風	居宅介護	35,309	継続	特定加算Ⅱ	5.5%		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	25,233
22710301553	寝屋川市	大阪府	寝屋川市	訪問介護サービスグリーンヘル淳風	重度訪問介護	0	継続	特定加算Ⅱ	5.5%		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	0
3											令和	年	年	年	年	年	
4											令和	年	年	年	年	年	
5											令和	年	年	年	年	年	
6											令和	年	年	年	年	年	
7											令和	年	年	年	年	年	
8											令和	年	年	年	年	年	
9											令和	年	年	年	年	年	
10											令和	年	年	年	年	年	
11											令和	年	年	年	年	年	
12											令和	年	年	年	年	年	
13											令和	年	年	年	年	年	
14											令和	年	年	年	年	年	
15											令和	年	年	年	年	年	
16											令和	年	年	年	年	年	
17											令和	年	年	年	年	年	
18											令和	年	年	年	年	年	
19											令和	年	年	年	年	年	
20											令和	年	年	年	年	年	

## 障害福祉サービス等処遇改善計画書(令和 4 年度)

(福祉・介護職員処遇改善計画書、福祉・介護職員等特定処遇改善計画書)

## 1 基本情報&lt;共通&gt;

フリガナ	シャカイフクシホウジンジュンブウカイ				
法人名	社会福祉法人淳風会				
法人所在地	〒	531-0075			
	大阪市北区大淀南2-5-20				
フリガナ	ニッタクウキ・ヤマザキ テルアキ				
書類作成担当者	新田有規・山崎 輝明				
連絡先	電話番号	06-6450-1121	FAX番号	06-6585-3388	E-mail honbu@junpu-kai.or.jp

【本計画書で提出する加算】 ※加算名をチェックすること。

 福祉・介護職員処遇改善加算(処遇改善加算) 福祉・介護職員等特定処遇改善加算(特定加算)

## 2 賃金改善計画について&lt;共通&gt;

※本計画に記載された金額は見込額であり、提出後の運営状況(利用者数等)、人員配置状況(職員数等)その他の事由により変動があり得る。

※本様式のオレンジセルでは下記の要件を確認しており、セルが「○」でない場合、加算の算定要件を満たしていない。

- I 福祉・介護職員の賃金改善の見込額が、処遇改善加算の算定見込額を上回ること  
 II 福祉・介護職員その他の職員の賃金改善の見込額が、特定加算の算定見込額を上回ること

## (1)福祉・介護職員処遇改善加算のみ計画する場合

① 算定する処遇改善加算の区分	※ 別紙様式2-2のとおり	
② 処遇改善加算の算定対象月		
③ 令和 4 年度処遇改善加算の見込額	2,767,896	円
④ 賃金改善の見込額(i-ii)	(右欄の額は③欄の額を上回ること)	
i) 処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の福祉・介護職員の賃金の総額(見込額)		円
ii) 前年度の福祉・介護職員の賃金の総額(処遇改善加算等取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)【基準額1】(ア)-(イ)-(ウ)-(エ)		円
(ア)前年度の福祉・介護職員の賃金の総額		円
(イ)前年度の処遇改善加算の総額		円
(ウ)前年度の特定加算のうち福祉・介護職員に支給された額 (前年度に特定加算を算定していた場合のみ)		円
(エ)前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額		円
⑤ 賃金改善実施期間	令和 年 月 ~ 令和 年 月	

要件 I

## 【記入上の注意】

・ 処遇改善加算のみの計画である場合は、以下の2(2)、(3)、(4)口、5の記載は不要である。

・ (1)④ i)の「処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の福祉・介護職員の賃金の総額(見込額)」及び ii) (ア)の「前年度の福祉・介護職員の賃金の総額」には、福祉・介護職員処遇改善加算による賃金改善を行った場合の法定福利費等の事業主負担の増加分を含めることができ

・ (1)④ i)の「処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の福祉・介護職員の賃金の総額(見込額)」には、特定加算、処遇改善臨時特例交付金及び令和4年度新加算(仮称)を取得し実施される賃金の改善見込額を除いた額を記載すること。(令和4年度新加算を取得する意向のある事業所は、(1)④ i)の額には、令和4年10月から賃金改善実施期間の最終月(原則として令和5年3月)までの期間に同加算を取得し実施される賃金の改善見込額を除いた額を記載すること。その際、当該改善見込額は、1月あたりの交付金の平均見込額に、同加算を取得する月数を乗じることによって算出すること。)

※1月あたりの交付金の平均見込額は、(参考)交付金別紙様式2-1の「2 賃金改善計画について」①の額を、交付金の交付対象期間の月数で除した額とする。なお、交付金を取得せず、令和4年度新加算(仮称)を取得する意向のある事業所は、仮に交付金を取得する場合の1月あたりの交付金の平均見込額を算出すること。

・ (1)④ ii) (イ)の「前年度の処遇改善加算の総額」及び(ウ)の「前年度の特定加算のうち福祉・介護職員に支給された額」は、都道府県国民健康保険団体連合会から通知される「福祉・介護職員処遇改善加算等総額のお知らせ」に基づき記載すること。(ただし、特定加算の額については、福祉・介護職員に支給された額のみを計上すること。)

・ (1)④ ii) (エ)の「前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額」は、本計画書の提出の前年度における独自の賃金改善分(初めて処遇改善加算を取得した年度以降に新たに行ったものに限る。)をいう。(処遇改善加算等に係るものを除く。)本欄に記載した賃金改善については、「(4)ハ 障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善」欄に支給額、方法等の具体的な賃金改善の内容を記載すること。

(2) 福祉・介護職員処遇改善加算(特定加算も併せて計画する場合)

① 算定する処遇改善加算の区分	※ 別紙様式2-2のとおり	
② 処遇改善加算の算定対象月		
③ 令和 4 年度処遇改善加算の見込額	2,767,896	円
④ 賃金改善の見込額(i-ii) (右欄の額は③欄の額を上回ることを)	2,767,897	円
i) 処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額) (経験・技能のある障害福祉人材(A)と他の障害福祉人材(B)の総額)	9,170,740	円
ii) 前年度の賃金の総額(処遇改善加算等を取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)【基準額1】(ア)-(イ)-(ウ)-(エ)	6,402,843	円
(ア)前年度の経験・技能のある障害福祉人材(A)と他の障害福祉人材(B)の賃金の総額	10,055,925	円
(イ)前年度の処遇改善加算の総額	3,238,758	円
(ウ)前年度の特定加算の総額(その他の職種(C)に支給された額を除く)	414,324	円
(エ)前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額		円
⑤ 賃金改善実施期間	令和 4 年 6 月 ~ 令和 5 年 5 月	

要件 I



【記入上の注意】

- (2)④ i) の「処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」及び④ ii) (ア)の「前年度の経験・技能のある障害福祉人材(A)と他の障害福祉人材(B)の賃金の総額」について、処遇改善加算における賃金改善対象職種はこれまでと変更は無いが、特定加算との兼ね合いにより便宜的に「経験・技能のある障害福祉人材(A)」と「他の障害福祉人材(B)」の賃金同士で比較するものとする。
- (2)④ i) の「処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」及び④ ii) (ア)の「前年度の経験・技能のある障害福祉人材(A)と他の障害福祉人材(B)の賃金の総額」には、処遇改善加算による賃金改善を行った場合の法定福利費等の事業主負担の増加分を含めることができる。
- (2)④ i) の「処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」には、特定加算、処遇改善臨時特例交付金及び令和4年度新加算を取得し実施される賃金の改善見込額を除いた額を記載すること。(令和4年度新加算を取得する意向のある事業所は、(1)④ i) の額には、令和4年10月から賃金改善実施期間の最終月(原則として令和5年3月)までの期間に同加算を取得し実施される賃金の改善見込額を除いた額を記載すること。その際、当該改善見込額は、1月あたりの交付金の平均見込額に、同加算を取得する月数を乗じることによって算出すること。)  
※1月あたりの交付金の平均見込額は、(参考)交付金別紙様式2-1の「2 賃金改善計画について」①の額を、交付金の交付対象期間の月数で除した額とする。なお、交付金を取得せず、令和4年度新加算(仮称)を取得する意向のある事業所は、仮に交付金を取得する場合の1月あたりの交付金の平均見込額を算出すること。
- (2)④ ii) (イ)の「前年度の処遇改善加算の総額」及び(ウ)の「前年度の特定加算の総額」は、都道府県国民健康保険団体連合会から通知される「福祉・介護職員処遇改善加算等総額のお知らせ」に基づき記載すること。ただし、特定加算の加算額については、その他の職種(C)に支給された額を除くこと。
- (2)④ ii) (エ)の「前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額」は、本計画書の提出年度における独自の賃金改善分(初めて処遇改善加算を取得した年度以降に新たに行ったものに限る。)をいう。(処遇改善加算等に係るものを除く。)本欄に記載した賃金改善については、「(4)ハ 障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善」欄に支給額、方法等の具体的な賃金改善の内容を記載すること。

(3) 福祉・介護職員等特定処遇改善加算

① 算定する特定加算の区分				
② 処遇改善加算の取得状況	※①、③ 別紙様式2-3のとおり、② 別紙2-2のとおり			
③ 特定加算の算定対象月				
④ 令和 4 年度特定加算の見込額(g)			714,252 円	
⑤ 賃金改善の見込額(i-ii)	(右欄の額は④欄の額を上回ること)		714,253 円	
i) 特定加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)			7,117,096 円	
ii) 前年度の賃金の総額(処遇改善加算等取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)【基準額2】(ア)-(イ)-(ウ)-(エ)			6,402,843 円	
(ア)前年度の賃金の総額			10,055,925 円	
(イ)前年度の処遇改善加算の総額			3,238,758 円	
(ウ)前年度の特定加算の総額			414,324 円	
(エ)前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額			円	
⑥ 平均賃金改善額	経験・技能のある障害福祉人材(A)	他の障害福祉人材(B)	その他の職種(C)	
i) 前年度の賃金の総額(処遇改善加算等取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)(h)	3,393,532 円	4,942,092 円	0 円	
ii) 前年度の常勤換算職員数(i)	11.0 人	18.8 人	2.4 人	
iii) 前年度の一月当たりの常勤換算職員数(j)	0.9 人	1.6 人	0.2 人	
iv) 前年度のグループ毎の平均賃金額(月額)【基準額3】(h)/(i)	308,503 円	262,877 円	0 円	
v) グループ毎の平均賃金改善額(月額)(g)/(j)/(k) ※予定している配分方法について選択すること。(いずれか1つ) ※当該年度の特定加算の見込額と前年度の一月当たりの常勤換算方法により算出した職員数から算出した一人当たり配分額(月額)。(括弧内はグループ毎に配分可能な加算総額(年額))	<input type="radio"/> (A)のみ実施 ( 714,258 円 ) ( 714,258 円 )			
	<input type="radio"/> (A)及び(B)を実施 ( #DIV/0! 円 ) ( #DIV/0! 円 ) ( #DIV/0! 円 )	#DIV/0! 円	#DIV/0! 円	
	<input checked="" type="radio"/> (A)(B)(C)全て実施 ( 714,263 円 ) ( 264,546 円 ) ( 423,264 円 ) ( 26,453 円 )	24,495 円	22,045 円	11,022 円
	<input type="radio"/> 上記以外の方法で実施 ( 0 円 ) ( 0 円 ) ( 0 円 ) ( 0 円 )			
月額平均8万円の賃金改善となる者又は改善後の賃金が年額440万円となる者 0 人(見込) (「月額平均8万円の賃金改善又は改善後の賃金が年額440万円以上となる者」を設定できない場合その理由)				
<input checked="" type="checkbox"/> 小規模事業所等で加算額全体が少額であるため。 <input type="checkbox"/> 職員全体の賃金水準が低く、直ちに月額平均8万円等まで賃金を引き上げることが困難であるため。 <input type="checkbox"/> 月額平均8万円等の賃金改善を行うに当たり、これまで以上に事業所内の階層や役職にある者に求められる能力や処遇を明確化することが必要であり、規程の整備や研修・実務経験の蓄積などに一定期間を要するため。 <input type="checkbox"/> その他( )				
⑦ 賃金改善実施期間(k)	令和 4 年 6 月 ~ 令和 5 年 5 月 ( 12 か月 )			

【記入上の注意】

- (2)⑤ i) の「特定加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」には、特定加算による賃金改善に伴う法定福利費等の事業主負担の増加分を含めることができる。
- (2)⑤ i) の「特定加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」には、処遇改善加算、処遇改善臨時特例交付金及び令和4年度新加算を取得し実施される賃金改善額を除いた額を記載すること。(令和4年度新加算を取得する意向のある事業所は、(2)⑥ i) の額には、令和4年10月から賃金改善実施期間の最終月(原則として令和5年3月)までの期間に同加算を取得し実施される賃金の改善見込額を除いた額を記載すること。その際、当該改善見込額は、1月あたりの補助金の平均見込額に、同加算を取得する月数を乗じることによって算出すること。) ※1月あたりの交付金の平均見込額は、(参考)交付金別紙様式2-1の「2 賃金改善計画について」①の額を、交付金の交付対象期間の月数で除した額とする。なお、交付金を取得せず、令和4年度新加算(仮称)を取得する意向のある事業所は、仮に交付金を取得する場合の1月あたりの交付金の平均見込額を算出すること。
- (2)⑤ ii) (イ)の「前年度の処遇改善加算の総額」及び(ウ)の「前年度の特定加算の総額」は、都道府県国民健康保険団体連合会から通知される「福祉・介護職員処遇改善加算等総額のお知らせ」に基づき記載すること。
- (2)⑤ ii) (エ)の「前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額」は、本計画書の提出年度における独自の賃金改善分(初めて処遇改善加算を取得した年度以降に新たに行ったものに限る。)をいう。(処遇改善加算等に係るものを除く。)本欄に記載した賃金改善については、「(4)ハ 障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善」欄に支給額、方法等の具体的な賃金改善の内容を記載すること。
- (2)⑥ i) の「前年度の賃金の総額(処遇改善加算等取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)」には、一括申請を行う場合については、原則として、前年1月から12月までの賃金の総額を記載すること。ただし、「その他の職種(C)」には、賃金改善前の賃金が既に年額440万円を上回る職員の賃金を含まないこと。
- (2)⑥ iii) の「前年度の一月当たりの常勤換算職員数」には、一括申請を行う場合については、原則として、本計画書を提出する前月の常勤換算方法により算出した職員数を記載すること。ただし、「その他の職種(C)」については、実人数によることもできる。

#### (4)賃金改善を行う賃金項目及び方法

##### イ 福祉・介護職員処遇改善加算

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓)  変更なし

賃金改善を行う給与の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 基本給 <input type="checkbox"/> 手当(新設) <input checked="" type="checkbox"/> 手当(既存の増額) <input type="checkbox"/> 賞与 <input type="checkbox"/> その他
具体的な取組内容	(当該事業所における賃金改善の内容の根拠となる規則・規程) <input type="checkbox"/> 就業規則の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 賃金規程の見直し <input type="checkbox"/> その他 ( ) (賃金改善に関する規定内容) ・正職員 平成21年4月～令和3年3月分までの基本給(職能給)月額5,000円底上げ 平成21年4月～令和4年3月分までの資格手当月額8,000円増額、夜勤手当1回5,000円増額、役職手当(チーフ)月額10,000円増額(主任)月額4,000円増額、年末年始手当1日2,000円増額 業績により変動が生じた場合、5月に常勤換算に応じた一時金を支給する事がある。 ・契約職員 平成21年4月～令和3年3月分までの時給100円増額 平成21年4月～令和4年3月分までの有資格者(介護福祉士)に時給50円増額、5:00～8:00/18:00～22:00勤務者に時給100円増額、日曜/祝日勤務者に時給50円増額、年末年始手当時給250円増額、夜勤手当1回5,000円増額 業績により変動が生じた場合、5月に常勤換算に応じた一時金を支給する事がある。 ※上記の根拠規程のうち、賃金改善に関する部分を記載すること。 ※前年度に提出した計画書から変更がある場合には、変更箇所を下線とするなど明確にすること。 (上記取組の開始時期)    平成    24    年    4    月 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 予定 )

##### ロ 福祉・介護職員等特定処遇改善加算

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓)  変更なし

経験・技能のある障害福祉人材の考え方	介護福祉士有資格者でかつ介護従事経験10年の者又は育成等級(法人内の等級:職能・キャリア段位のようなもの)Ⅲ級以上の者
賃金改善を行う職員の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> (A)経験・技能のある障害福祉人材 <input checked="" type="checkbox"/> (B)他の障害福祉人材 <input checked="" type="checkbox"/> (C)その他の職種 ((A)にチェック(✓)がない場合その理由)
賃金改善を行う給与の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 基本給 <input checked="" type="checkbox"/> 手当(新設) <input type="checkbox"/> 手当(既存の増額) <input type="checkbox"/> 賞与 <input type="checkbox"/> その他
具体的な取組内容	(当該事業所において賃金改善内容の根拠となる規則・規程) <input checked="" type="checkbox"/> 就業規則の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 賃金規程の見直し <input type="checkbox"/> その他 ( ) (賃金改善に関する規定内容) ・正職員、契約職員共通 介護職員等特定処遇改善手当として加算入金月に支給する。 例.令和4年4月提供分 ⇒ 令和4年6月支給 令和4年5月提供分 ⇒ 令和4年7月支給 以降提供月から2か月後(加算入金月)の支給 経験・技能のある介護職員(A) 手当額 正職員月額13,200円 契約職員時給79円 他の介護職員(B) 手当額 正職員月額11,900円 契約職員時給71円 その他の職種(C) 手当額 正職員月額 9,917円 契約職員時給47円 業績により金額に変動が生じる場合あり。 ※上記の根拠規程のうち、賃金改善に関する部分を記載すること。 資格・手当等に含めて賃金改善を行う場合は、その旨を記載すること。 ※前年度に提出した計画書から変更がある場合には、変更箇所を下線とするなど明確にすること。 (上記取組の開始時期)    令和    4    年    4    月 ( <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 予定 )

##### ハ 各障害福祉サービス事業者等による処遇改善加算、特定加算の配分を除く独自の賃金改善

「(1)④ ii)(エ)」、「(2)④ ii)(エ)又は「(3)⑤ ii)(エ)」の「前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額」に計上する場合は記載

独自の賃金改善の具体的な取組内容	
独自の賃金改善額の算定根拠	

### 3 キャリアパス要件について〈処遇改善加算〉

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓)  変更なし

次の要件について該当するものにチェック(✓)し、必要事項を具体的に記載すること。

キャリアパス要件Ⅰ 次のイからハまでのすべての基準を満たす。		加算Ⅰ・Ⅱの場合は必ず「該当」 <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当
イ	福祉・介護職員の任用における職位、職責又は職務内容等の要件を定めている。	
ロ	イに掲げる職位、職責又は職務内容等に応じた賃金体系を定めている。	
ハ イ、ロについて、就業規則等の明確な根拠規定を書面で整備し、全ての福祉・介護職員に周知している。		

キャリアパス要件Ⅱ 次のイとロ両方の基準を満たす。		加算Ⅰ・Ⅱの場合は必ず「該当」 <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当
イ	福祉・介護職員の職務内容等を踏まえ、福祉・介護職員と意見交換しながら、資質向上の目標及び①、②に関する具体的な計画を策定し、研修の実施又は研修の機会を確保している。	
	イの実現のための具体的な取組内容 (該当する項目にチェック(✓)した上で、具体的な内容を記載)	<p>資質向上のための計画に沿って、研修機会の提供又は技術指導等を実施するとともに、福祉・介護職員の能力評価を行う。 ※当該取組の内容について下記に記載すること</p> <p>・年度計画を立案し、以下の内容を職員会議にて内部研修を実施している。(職員一律) 倫理・法令遵守、感染症・食中毒、地域貢献、苦情・事故防止、身体拘束・虐待防止、認知症・精神疾患、基本的人権、防災、看取り介護、地域包括ケア、褥瘡予防</p> <p>・年度計画として個人研修・評価シートを作成し外部研修へ参加してもらっている。(職員個別) 上司と面談の上、年度の重要テーマと目標を設定。それを達成するために役立つ外部研修への参加を計画。</p> <p>資格取得のための支援の実施 ※当該取組の内容について下記に記載すること</p> <p>希望者が介護福祉士修学資金貸付制度を利用出来るように法人が連帯保証人となっている。</p>
ロ イについて、全ての福祉・介護職員に周知している。		

キャリアパス要件Ⅲ 次のイとロ両方の基準を満たす。		加算Ⅰの場合は必ず「該当」 <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当
イ	福祉・介護職員について、経験若しくは資格等に応じて昇給する仕組み又は一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組みを設けている。	
	具体的な仕組みの内容(該当するもの全てにチェック(✓)すること。)	<p>① 経験に応じて昇給する仕組み ※「勤続年数」や「経験年数」などに応じて昇給する仕組みを指す。</p> <p>② 資格等に応じて昇給する仕組み ※「介護福祉士」や「実務者研修修了者」などの取得に応じて昇給する仕組みを指す。ただし、介護福祉士資格を有して就業する者についても昇給が図られる仕組みであることを要する。</p> <p>③ 一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組み ※「実技試験」や「人事評価」などの結果に基づき昇給する仕組みを指す。ただし、客観的な評価基準や昇給条件が明文化されていることを要する。</p>
ロ イについて、全ての福祉・介護職員に周知している。		

※要件Ⅲを満たす(加算Ⅰを算定する)場合、昇給する仕組みを具体的に記載している就業規則等について、指定権者からの求めがあった場合には速やかに提出できるよう、適切に保管すること。

#### 4 職場環境等要件について<共通>

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓)  変更なし

##### 【処遇改善加算】

届出に係る計画の期間中に実施する事項について、全体で**必ず1つ以上**にチェック(✓)すること。ただし、記載するに当たっては、選択したキャリアパスに関する要件で求められている事項と重複する事項を記載しないこと。

##### 【特定加算】

届出に係る計画の期間中に実施する事項について、必ず**全て**にチェック(✓)すること。複数の取組を行い、「入職促進に向けた取組」、「資質の向上やキャリアアップに向けた支援」、「両立支援・多様な働き方の推進」、「腰痛を含む心身の健康管理」、「生産性向上のための業務改善の取組」及び「やりがい・働きがいの構成」の**6つの区分から任意で3つの区分を選択し、選択した区分でそれぞれ1つ以上の取組を行うこと**。なお、処遇改善加算と特定加算とで、別の取組を行うことは要しない。

※ 前年度から引き続き加算を算定する場合であり、かつ、前年度に職場環境等要件を満たす取組実績がある事業所において、合理的な理由により当該期間中の実施が困難と見込まれる場合は、当該理由を明記することで、例外的に要件を充たしているものとして差し支えない。なお、その場合であっても、できる限り実施に努めることとする。

分類	内容	
入職促進に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/>	法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化
	<input type="checkbox"/>	事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築
	<input checked="" type="checkbox"/>	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築
	<input checked="" type="checkbox"/>	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	<input checked="" type="checkbox"/>	働きながら介護福祉士等の取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等
	<input checked="" type="checkbox"/>	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動
	<input type="checkbox"/>	エルダー・メンター(仕事やメンタル面のサポート等をする担当者)制度等の導入
	<input checked="" type="checkbox"/>	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保
両立支援・多様な働き方の推進	<input checked="" type="checkbox"/>	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指すための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備
	<input checked="" type="checkbox"/>	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員が正規職員への転換の制度等の整備
	<input checked="" type="checkbox"/>	有給休暇が取得しやすい環境の整備
	<input type="checkbox"/>	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実
	<input type="checkbox"/>	障害を有する者でも働きやすい職場環境の構築や勤務シフトの配慮
腰痛を含む心身の健康管理	<input checked="" type="checkbox"/>	福祉・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等の導入及び研修等による腰痛対策の実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業者のための休憩室の設置等健康管理対策の実施
	<input type="checkbox"/>	雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備
生産性向上のための業務改善の取組	<input checked="" type="checkbox"/>	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減
	<input type="checkbox"/>	高齢者の活躍(居室やフロア等の掃除、食事の配膳、下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供)等による役割分担の明確化
	<input type="checkbox"/>	5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減
やりがい・働きがいの構成	<input checked="" type="checkbox"/>	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善
	<input checked="" type="checkbox"/>	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施
	<input type="checkbox"/>	利用者本位の支援方針など障害福祉や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供
	<input checked="" type="checkbox"/>	支援の好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供
合理的な理由により期間中の実施が困難な場合 ※ 上記のうち、前年度に取組実績がある項目にチェック(✓)すること。		<input type="checkbox"/> 理由:

#### 5 見える化要件について<特定加算>

※ 職場環境等要件の変更に伴う情報公表システムの改修を予定していることから、令和3年度及び4年度は算定要件としない。

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓)  変更なし

実施している周知方法について、チェック(✓)すること。

ホームページへの掲載	<input checked="" type="checkbox"/>	「障害福祉サービス等情報公表検索サイト」への掲載	/	<input checked="" type="checkbox"/>	掲載予定
	<input checked="" type="checkbox"/>	自社のホームページに掲載	/	<input checked="" type="checkbox"/>	掲載予定
その他の方法による掲示等	<input type="checkbox"/>	事業所・施設の建物で、外部から見える場所への掲示	/	<input type="checkbox"/>	掲載予定
	<input type="checkbox"/>	その他( )	/	<input type="checkbox"/>	予定



## 6 届出に係る根拠資料について<共通>

以下の点を確認し、全ての項目にチェックして下さい。

確認項目	証明する資料の例
<input checked="" type="checkbox"/> 加算相当額を適切に配分するための賃金改善ルールを定めました。	就業規則、給与規程
<input checked="" type="checkbox"/> 処遇改善加算として給付される額は、職員の賃金改善のために全額支出します。	給与明細
<input checked="" type="checkbox"/> 加算対象となる職員の勤務体制及び資格要件を確認しました。	勤務体制表、介護福祉士登録証等
<input checked="" type="checkbox"/> キャリアパス要件Ⅱの資質向上の目標及び具体的な計画を定めました。	資質向上のための計画
<input checked="" type="checkbox"/> 労働基準法、労働災害補償保険法、最低賃金法、労働安全衛生法、雇用保険法その他の労働に関する法令に違反し、罰金以上の刑に処せられていません。	—
<input checked="" type="checkbox"/> 労働保険料の納付が適正に行われています。	労働保険関係成立届、確定保険料申告書
<input checked="" type="checkbox"/> 本計画書の内容を雇用する全ての職員に対して周知しました。	会議録、周知文書

※ 各証明資料は、指定権者からの求めがあった場合には、速やかに提出すること。

※ 本表への虚偽記載の他、福祉・介護職員処遇改善加算及び福祉・介護職員等特定処遇改善加算の請求に関して不正があった場合は、介護給付費等の返還や事業所の指定取消となる場合がある。

計画書の記載内容に虚偽がないことを証明するとともに、記載内容を証明する資料を適切に保管していることを誓約します。

令和 4 年 4 月 1 日

法人名 社会福祉法人淳風会

代表者 職名 理事長

氏名 西村 良廣

別紙様式2-2 福祉・介護職員処遇改善計画書(施設・事業所別(個表))

法人名 社会福祉法人淳風会

福祉・介護職員処遇改善加算額(見込額)の合計[円] 2,767,896

障害福祉サービス等 事業所番号	指定権者名	事業所の所在地		事業所名	サービス名	一月あたり(処 遇改善加算等 を除いた)障害 福祉サービス等 報酬総額[円](a)	新規・継続の 別	(1) 算定する 福祉・介 護職員処 遇改善加 算の区分	加 算 率 ( b )	(2) 算定対象月(c) 4 年 4 月 ~ 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	(3) 福祉・介護職 員処遇改善加 算の見込額 (a×b×c) [円]
		都道府県	市区町村								
12714002058	豊中市	大阪府	豊中市	訪問介護サービス淳風とよなか	居宅介護	818,887	継続	加算 I	27.4%	4 年 4 月 ~ 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	2,692,500
22714002058	豊中市	大阪府	豊中市	訪問介護サービス淳風とよなか	重度訪問介護	31,419	継続	加算 I	20.0%	4 年 4 月 ~ 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	75,396
3										令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	
4										令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	
5										令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	
6										令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	
7										令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	
8										令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	
9										令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	
10										令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	
11										令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	
12										令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	
13										令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	
14										令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	
15										令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	
16										令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	
17										令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	
18										令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	
19										令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	
20										令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月 ( 12 ヶ月)	

別紙様式2-3 福祉・介護職員等特定処遇改善計画書(施設・事業所別個表)

法人名	社会福祉法人淳風会
福祉・介護職員等特定処遇改善加算額(男込額)の合計[円]	714,252

障害福祉サービス等 事業所番号	指定権者名	事業所の所在地		事業所名	サービス名	一月あたり(処 遇改善加算等 を除いた)障害 福祉サービス等 報酬総額[円](a)	(1) 新規・ 継続 の別	加算 率 ( d )	配置等要件	(3) 算定対象月(e)					(4) 福祉・介護職 員等特定処遇 改善加算の見 込額 (a×d×e) [円]				
		都道府県	市区町村							4年	4年	4年	5年	5年		3月	3月	3月	
12714002058	豊中市	大阪府	豊中市	訪問介護サービス淳風とよなか	居宅介護	818,887	継続	7.0%	特定事業所加算	令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	3月	3月	3月	687,864
22714002058	豊中市	大阪府	豊中市	訪問介護サービス淳風とよなか	重度訪問介護	31,419	継続	7.0%	特定事業所加算	令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	3月	3月	3月	26,388
3										令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	3月	3月	3月	
4										令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	3月	3月	3月	
5										令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	3月	3月	3月	
6										令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	3月	3月	3月	
7										令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	3月	3月	3月	
8										令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	3月	3月	3月	
9										令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	3月	3月	3月	
10										令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	3月	3月	3月	
11										令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	3月	3月	3月	
12										令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	3月	3月	3月	
13										令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	3月	3月	3月	
14										令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	3月	3月	3月	
15										令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	3月	3月	3月	
16										令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	3月	3月	3月	
17										令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	3月	3月	3月	
18										令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	3月	3月	3月	
19										令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	3月	3月	3月	
20										令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	3月	3月	3月	